

(19)日本国特許庁 (J P)

(12)公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平8-223240

(43)公開日 平成8年 (1996) 8月30日

(51)Int.Cl. ⁴	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
H 0 4 L 27/38			H 0 4 L 27/00	G
H 0 3 H 21/00		8842-5J	H 0 3 H 21/00	
H 0 4 B 3/06			H 0 4 B 3/06	C
H 0 4 L 7/00			H 0 4 L 7/00	F
27/22			27/22	Z
審査請求 未請求 請求項の数 3 O L (全 10 頁)				

(21)出願番号 特願平7-30659

(22)出願日 平成7年 (1995) 2月20日

(71)出願人 000004226

日本電信電話株式会社

東京都新宿区西新宿三丁目19番2号

(72)発明者 田野 哲

東京都千代田区内幸町一丁目1番6号 日本

電信電話株式会社内

(74)代理人 弁理士 本間 崇

(54) [発明の名称] 周波数オフセット補償回路

(57) [要約]

【目的】 デジタル信号伝送における送受信間の周波数誤差を自動的に補償する周波数オフセット補償回路に関し、MLSE型等化器のための高精度でかつ高速度周波数オフセット補償法の実現を目的とする。

【構成】 N時間に渡る既知の送信信号を記憶しておき、この出力信号1に周波数オフセットによる位相回転を与え、出力信号1に対応した受信信号と乗算し、この出力信号2をN時間に渡って積算する相関検出器と、前記周波数オフセットに起因した一時刻内の位相変動に対する相関検出器の出力信号の二乗和の変化量を検出し、二乗和が最大に成るよう位相変動の推定値を更新し、一時間内の位相変動を推定する周波数オフセット推定器と、周波数オフセット推定器の出力である一時間内の位相変動を基に受信信号の周波数オフセットを除去する位相補償部とにより構成する。

本発明の一実施例を示す図

